

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(市町総括表)
【単独事業】

市町名	栃木市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	とちぎ秋まつり			5,696,467	28,687,970	916,000	35,300,437
	総事業費						
	うち市町支出額			2,000,000	17,000,000	0	19,000,000
	うち県交付金			1,000,000	2,000,000	0	3,000,000
2	歌麿を活かしたまちづくり事業			3,050,520	4,111,802	5,000,000	12,162,322
	総事業費						
	うち市町支出額			900,000	1,800,000	1,800,000	4,500,000
	うち県交付金			450,000	900,000	900,000	2,250,000
3							0
	総事業費						
	うち市町支出額						0
	うち県交付金						0
4							0
	総事業費						
	うち市町支出額						0
	うち県交付金						0
5							0
	総事業費						
	うち市町支出額						0
	うち県交付金						0
6							0
	総事業費						
	うち市町支出額						0
	うち県交付金						0
7							0
	総事業費						
	うち市町支出額						0
	うち県交付金						0
8							0
	総事業費						
	うち市町支出額						0
	うち県交付金						0
9							0
	総事業費						
	うち市町支出額						0
	うち県交付金						0
10							0
	総事業費						
	うち市町支出額						0
	うち県交付金						0
市町計	総事業費	0	0	8,746,987	32,799,772	5,916,000	47,462,759
	うち市町支出額	0	0	2,900,000	18,800,000	1,800,000	23,500,000
	うち県交付金	0	0	1,450,000	2,900,000	900,000	5,250,000

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	栃木市
事業名	とちぎ秋まつり
事業主体の名称	令和6年とちぎ秋まつり実行委員会
代表者の名称	実行委員長 長島 篤
事業主体の所在	栃木市万町9-25 栃木市産業振興部観光振興課内
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 江戸型人形山車や獅子頭を巡行する『とちぎ秋まつり』を開催し、その優美さや荘厳さを、市民をはじめ、全国から訪れる多くの皆様楽しんでいただくとともに、歴史と文化に育まれた「栃木市」を広く紹介することにより、活力あるまちづくりに貢献する。</p> <p>・設立年月日: 令和5年5月10日</p> <p>・構成員等: (1)まつり参加町内会 (2)栃木市 (3)栃木商工会議所 (4)一般社団法人栃木市観光協会 (5)栃木市商店会連合会 (6)とちぎの山車祭り伝承会 (7)まつり協賛行事参加団体 (8)その他関係機関・協力団体等</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>・とちぎ秋まつりは、栃木市の蔵の街大通りを会場に、6台が県の指定文化財に、3台と1対が市の指定文化財に指定されている山車等を所有する10町内会を中心に栃木地域を代表するイベントとして、隔年で開催されている(前回は令和4年に実施)。</p> <p>・とちぎ秋まつりは、栃木市を代表するとともに、市民一体感の醸成につながるイベントにする必要がある。</p> <p>・また、山車所有町内会の中には世帯数が減少し、山車まつりの伝承が危ぶまれる町内会もあるなど、後継者不足が問題となっており、町内以外の地域からの協力を得ることが課題となっている。</p>
事業目的	江戸型人形山車や獅子頭を巡行するとちぎ秋まつりを開催し、その優雅さや荘厳さを、市民をはじめ、全国から訪れる多くの皆様楽しんでいただくとともに、歴史と文化に育まれた「栃木市」を広く紹介することにより、活力あるまちづくりに貢献すること。
事業概要	<p>【令和6年度】 開催日: 令和6年11月1日(金)、2日(土)、3日(日)</p> <p>・蔵の街大通りを中心として、山車の巡行、ぶっつけ、お囃子、小学生による「こども山車まつり」、お神楽等の伝統芸能の発表等を行った。</p> <p>・鉄道会社あてポスターの掲示を行ったり、首都圏でのキャンペーン活動にてPRしたりと、広報活動に努め、市外・県外の観光客の方に来ていただくよう促した。</p> <p>・とちぎ秋まつりが山車所有町内会のみのもまつりとならないよう、また、多くの子ども達に伝統を体験してもらい、次世代に継承することを目的に「こども山車まつり」を開催し、小学生に参加してもらった。さらに、大学生や高校生、中学生にまつりに参加いただき、課題に挙げた、後継者不足の問題解決の一助となった。</p> <p>【令和7年度】 令和8年度のチラシ・ポスターを作成・配布する等、令和8年度の開催に向けて準備、広報等を行う。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】「本市への新しい人の流れをつくる」</p> <p>【具体的施策】交流人口の増加/観光資源の魅力向上と有効活用</p> <p>【KPI】観光施設等観光客年間入込数 R2: 250万人→R6: 356万人【R4実績336万人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	<p>●栃木県誕生150年祭への出展</p> <p>①山車の展示、お囃子演奏</p> <p>②熱気球係留飛行体験・熱気球教室</p> <p>③パネル展示や動画の上映</p> <p>④市長と政策フェロー意見交換</p> <p>⑤アコーディオンコンサート</p> <p>⑥着付け</p> <p>⑦鉛筆づくり等体験イベント</p> <p>⑧いちごの染め物体験</p> <p>⑨中学生吹奏楽演奏</p> <p>⑩クイズラリー</p> <p>⑪PRチラシ配布</p>	●令和6年とちぎ秋まつり	<p>●令和8年とちぎ秋まつりの企画、準備等</p> <p>①前年度の反省を踏まえ、次年度開催に向けて開催方法等を検討</p> <p>②PRチラシ・ポスターの作成・配布</p>		<p>●令和8年とちぎ秋まつり</p> <p>①山車の巡行、ぶっつけ</p> <p>②市内各地域の小学生による「こども山車まつり」</p> <p>③市内各地域のお囃子、お神楽等の伝統芸能の発表</p> <p>④一般参加者の募集</p>
事業費	5,696,467	28687970	916,000	35,300,437	33,000,000
市町支出金(ソフト事業分)	2,000,000	17000000	0	19,000,000	17,000,000
うち県交付金	1,000,000	2000000	0	3,000,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	3,696,467	11687970	916,000	16,300,437	16,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	栃木市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	とちぎ秋まつり	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市町村負担金	17,000,000	市負担金
負担金	2,300,000	栃木商工会議所、(一社)栃木市観光協会、栃木市商店会連合会 とちぎの山車祭り伝承会
協賛金	7,562,500	協賛金、駐車場協力金等
事業収入	687,200	グッズ販売収入
雑入	30,935	関係団体からの祝金、預金利息等
繰越金	1,783,097	令和6年とちぎ秋まつり実行委員会(令和5年度事業分)からの繰越金
計	29,363,732	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品	2,274,508	2,000,000	200,000	274,508	提灯制作代等
印刷製本費	1,263,240	1,000,000	200,000	263,240	パンフレット、ポスター、 チラシ作成代
広告料	210,120			210,120	コマーシャル利用料等
手数料	38,005			38,005	振込手数料等
使用料及び賃借料	5,058,991	3,000,000	300,000	2,058,991	小学生送迎用 バス借り上げ料等
委託料	8,352,271	3,000,000	300,000	5,352,271	警備費、会場設営費等
報償費	258,000			258,000	伝統芸能出演謝礼等
保険料	422,922			422,922	イベント保険料
補助費	10,650,000	8,000,000	1,000,000	2,650,000	巡回補助金
食糧費	159,913			159,913	山車引き参加高校生昼食代等
計	28,687,970	17,000,000	2,000,000	11,687,970	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	栃木市
事業名	歌麿を活かしたまちづくり事業
事業主体の名称	歌麿を活かしたまちづくり協議会
代表者の名称	会長 大木 洋
事業主体の所在	栃木県栃木市万町9番25号
事業主体の概要	<p>・団体の目的:喜多川歌麿の業績をたええるとともに、栃木市の関わりを市内外に発信し、ゆかりの地として、歌麿の作品や足跡を活かしたまちづくりを行い、「まちなか」の賑わいを創出することを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成28年5月24日</p> <p>・構成員等:小江戸とちぎ会、栃木市商店会連合会、栃木の例幣使街道を考える会、その他文化団体等(役員は各団体代表者21名により構成)</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>栃木市では、江戸時代の浮世絵師 喜多川歌麿の肉筆画3点(「女達磨図」・「鍾馗図」・「三福神の相撲図」)を所蔵している。平成23年にとちぎ蔵の街美術館で3点揃っての公開に合わせて、市民団体等が主体となり「歌麿まつり」を開催したことをきっかけとして、翌24年に「歌麿まつり実行委員会」を発足。毎年10月もしくは11月にまつりを開催するにあたり、実行委員会を組織し、会議を重ねながら企画内容を決定、開催してきた。</p> <p>しかし、まつり期間だけの活動であるため、歌麿と栃木市の関わりを市内外に十分に周知すること、「まちなか」のにぎわいを創出し、まちづくりにつなげることが難しいことから、実行委員会の関係団体が、平成28年度「歌麿を活かしたまちづくり協議会」を設立した。これにより、「歌麿まつり」はもてらんのこと、まつり期間以外にも歌麿に関する講演会の開催や、研修部会が企画する勉強会を行う等、年間を通じて活動することで、歌麿に関する周知や学習の機会を増やしてきた。途中、令和元年度に台風19号による大雨被害、令和2年度から3年度に新型コロナウイルス感染症により活動中止を余儀なくされた時期があったが、令和4年度には、「歌麿道中」や歌麿に関する講演会を規模を縮小しながらはあがある開催することができた。</p> <p>活動を通じての課題は、新型コロナウイルス感染症の影響により、「歌麿まつり」を含めた様々な事業が中止、規模を大幅に縮小しての開催になったことによる周知・学習機会の減少や、会員の高齢化が進み、今後の事業の継続が困難なことが予想されるため、イベント等を通して歌麿に興味のある会員を確保することである。</p>
事業目的	<p>歌麿ゆかりの地として、歌麿の作品や足跡を活かしたイベントを開催し、「まちなか」のにぎわいを創出することにより歌麿と栃木市の関わりを市内外に発信することで観光客を入れ込むと共に、イベント等を通して既存会員の知識を深めること、歌麿に興味のある会員を確保することで活動を継続し、まちづくりに繋げていくことを目的とする。</p>
事業概要	<p>【令和6年度】【I-d】</p> <p>①第13回歌麿まつり(「歌麿道中」や「歌麿夢芝居」、その他協議会構成団体による関連イベント)の開催 開催期間:令和6年10月5日(土)～14日(日)の10日間 開催場所:蔵の街とちぎ(蔵の街大通りを中心とした街中周辺) 内容:(1)歌麿道中 10月6日(土) ※歌麿が描いた世界を再現 来場者数:延3,500人 (2)各種団体による歌麿関連イベント 参加団体等:13団体 来場者数:延25,000人</p> <p>②創作オペラ「歌麿の恋」～歌麿が恋をしたのは…～ 開催期間:令和6年12月1日(日) 開催場所:とちぎ岩下の新生美術館(栃木文化会館)大ホール 来場者数:850人</p> <p>③栃木市立美術館による高精細複製画ならびに肉筆画の展示</p> <p>④6月15日(土)より、市の歴史的風致維持形成建造物を「とちぎ歌麿交流館」として試験的に活用し、栃木と歌麿の関連した情報発信・研究・情報交換を行った。来場者数:延4,500人</p> <p>⑤栃木と歌麿の関連を学ぶための講演会・勉強会 2025年 大河ドラマ「べらぼう～高重栄華乃夢唄」(NHK)の放送に伴い、当の人気プロデューサーである「高重(高屋重三郎)」と歌麿の関わりについて、栃木市民講座とコラボし、シリーズで講演会等を行った。 其の式:講演会【講演会】講演会【講演】脚本家の仕事&【対談】歌麿を活かしたまちづくり 日時:令和6年8月22日(木) 参加者350人 其の参:学習会「歌麿と栃木」(全3回) 日時:8月28日(水)、9月4日(水)、9月11日(水) 参加者:延110人 其の四:講演会「高重の事業展開と歌麿」 日時10月19日(土) 参加者:111名</p> <p>【広報関係】</p> <p>①歌麿をはじめとしたイメージキャラクターを作成し、イベント等にて積極的に啓発活動を行った。</p> <p>②2025年大河ドラマ「べらぼう～高重栄華乃夢唄」(NHK)の放送を契機と捉え、のぼり旗や横断幕を作成し、積極的に啓発活動を行った。また、大河ドラマ登場人物ゆかりの自治体と連携(東京都台東区、静岡県牧之原市)との相互連携を行った。</p> <p>③とちぎ歌麿交流館について、雑誌等に取り上げられた。取材受入:21件</p> <p>【令和7年度以降】</p> <p>①歌麿まつり(「歌麿道中」や「歌麿夢芝居」、その他協議会構成団体による関連イベント)の開催</p> <p>②栃木市立美術館と連携し、高精細複製画ならびに肉筆画の展示</p> <p>③歴史的風致維持形成建造物を利用した栃木と歌麿の関連した情報発信・研究・情報交換</p> <p>④栃木と歌麿の関連を学ぶための講演会・勉強会</p> <p>⑤若年層の会員確保のためのコンテンツ制作・発信</p> <p>⑥大河ドラマに関連する団体や登場人物ゆかりの地との相互連携</p> <p>⑦その他、事業の拡大や新規事業の開拓</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本方針】地域資源を活かした賑わいと活力のある栃木市</p> <p>【基本施策】観光の振興</p> <p>【KPI】年間観光客入込数:令和9年度に年間650万人(平成30年度現状値:年間600万人)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	5年度	6年度	7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①栃木県誕生150周年記念歌麿まつり(「歌麿道中」・「歌麿夢芝居」・協議会構成団体による関連イベント)の開催 ②栃木市立美術館における高精細複製画ならびに肉筆画の展示 ③歌麿と栃木の関連を学ぶための講演会・勉強会	①歌麿まつり(「歌麿道中」・協議会構成団体による関連イベント)の開催 ②創作オペラ「歌麿の恋」 ③栃木市立美術館における高精細複製画ならびに肉筆画の展示 ④歴史的風致維持形成建造物を利用した栃木と歌麿の関連した情報発信・研究・情報交換 ⑤歌麿と栃木の関連を周知させるための講演会・勉強会 ⑥若年層の会員確保のためのコンテンツ制作・発信 ⑦大河ドラマに関連す	①歌麿まつり(「歌麿道中」・協議会構成団体による関連イベント)の開催 ②栃木市立美術館における高精細複製画ならびに肉筆画の展示 ③歴史的風致維持形成建造物を利用した栃木と歌麿の関連した情報発信・研究・情報交換 ④歌麿と栃木の関連を周知させるための講演会・勉強会 ⑤若年層の会員確保のためのコンテンツ制作・発信 ⑥大河ドラマに関連する団体や登場人物ゆかりの地との相互連携	12,162,322	3,500,000
事業費	3,050,520	4,111,802	5,000,000	12,162,322	3,500,000
市町支出金(ソフト事業分)	900,000	1,800,000	1,800,000	4,500,000	900,000
うち県交付金	450,000	900,000	900,000	2,250,000	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	0
その他自主財源等	2,150,520	2,311,802	3,200,000	7,662,322	2,600,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	栃木市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	歌麿を活かしたまちづくり事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
栃木市補助金	1,800,000	栃木市
協賛金	2,015,000	企業・各種団体等からの協賛金 112件
繰越金	770,434	繰越金(協議会前年度残金)
会費	54,000	協議会会費 3,000円×16団体=48,000円、1,000円×6人=6,000円
雑入	17,462	寄付、戻入金、利息
計	4,656,896	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	552,285	0	0	552,285	
旅費	13,694	13,694	6,847	0	
消耗品費	39,246	39,246	19,623	0	
食糧費	61,606	0	0	61,606	
印刷製本費	397,030	397,030	198,515	0	
修繕料	0	0	0	0	
通信運搬費	0	0	0	0	
広告費	0		0	0	
手数料	58,684	58,684	29,342	0	
委託料	1,459,457	966,546	483,273	492,911	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	
備品購入費	354,800	324,800	162,400	30,000	
負担金、補助及び交付金	1,175,000	0	0	1,175,000	
計	4,111,802	1,800,000	900,000	2,311,802	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合